

京田辺の竹 担ぎ東大寺へ

お水取りの松明に 市民ら450人



東大寺二月堂（奈良市）の修二会（お水取り）に使う松明用の竹を奉納する「竹送り」が11日、行われた。京田辺市で採った竹を市民ら約450人が交代で担ぎ、二月堂まで届けた。

府南部の山城地域ではかつて、奈良へ通じる街道沿いに竹を置き、村人や旅人がリレーのように運んで二月堂に寄進した。1950年代に途絶えたが、山城松明講社（京田辺市、松村茂講社長）が78年に復活させた。

この日は朝から同市内で真竹8本を掘り起こし、奈良市奈良阪町まで車で輸送。京田辺

竹を担ぎ、二月堂へ続く石畳を歩く子どもたち
奈良市雑司町の東大寺で

市の京田辺シユタイナ
1 学校や奈良市の少年
野球チームの子供たち
も参加し、長さ7歳以

上ある竹を肩に担ぐな
どして、二月堂まで約
4 500の道のりを運ん
だ。
【野上哲】